

第7次福島市総合計画の策定に向けた

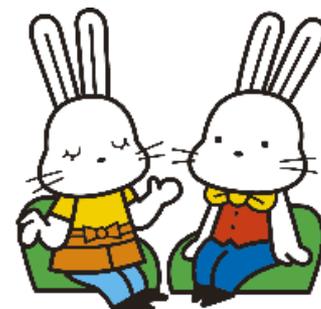
第1回 市民ワークショップ

～みんなで作ろう 福島市の未来～

「福島市からの情報提供」

日時:令和6年12月21日(土)
13:30～16:15

会場:ホテル福島グリーンパレス
2階 瑞光の間



はじめに

本日ワークショップをより充実したものにするため
福島市に少し説明の時間をください！

【お伝えしたいこと】

- 総合計画とは何かを知る
- いまの福島市を知る

「総合計画」ってなに？

- 市のまちづくりに関する**最も重要な計画**
- 市が**目指す将来のまちの姿(将来構想)**を実現するため、**長期的な展望のもと、まちづくりの基本的な方向性を示すもの**

いまの総合計画ってどんなもの？

●いまは令和3～7年度の5年間の
「第6次福島市総合計画」の期間中

●現計画の将来構想は・・・

人・まち・自然が奏でるハーモニー
未来協奏(共創)都市
～世界にエールを送るまち ふくしま～

⇒市民が誇りをもって住み続けたい、よその人が関わってみたいと思うまち
⇒これを実現し、大震災からの復興創生を成し遂げ、「世界にエールを送るまち」に

福島市の取り組み

令和6年度当初予算の概要

主要プロジェクト

本日はいくつかピックアップして説明します

積極果敢に政策展開と変革を図り、上昇の流れを定着・強化し、beyondコロナの新しいステージが見えるよう、以下の8つを柱として、一層の創意工夫を講じながら市政を推進します。

1

安全安心な
まちづくり

83億812万円

2

子育てと教育で
選ばれる
まちづくり

190億
1,545万円

3

高齢者や障がい者、
誰もが健康で元気に
暮らせるまちづくり

178億
6,408万円

4

将来にわたり
持続可能な
産業の振興

24億8,341万円

5

賑わいと
文化・スポーツの
振興

97億7,126万円

6

デジタル都市の
形成と地域経営
のリノベーション

20億426万円

7

ゼロカーボンの
推進

18億7,045万円

8

移住・定住の促進、
女性活躍社会の
形成

2億1,756万円

2 子育てと教育で選ばれるまちづくり

(1) 子育て支援の充実

子育ての**経済的支援**を充実させ、**多様な保育**の提供と**保育の質**の向上を図り、子どもファーストで「**子育てするなら福島市**」の実現を目指します。

日本子育て大賞 **受賞** R5 **東北初**

共働き子育てしやすいまち
2年連続東北**1**位

① 子育てのための経済的支援

～結婚から子供が健やかに育つまでの間、
切れ目ない経済的な支援を総合的・継続的に推進～

0. 結婚新生活

市独自

○ 結婚新生活応援

- ①住宅スタートアップ支援(所得制限なし)
・初年度15万円)

②家賃支援

- ・2年間
・最大年24万円

③住宅取得支援

- ・最大30万円

1. 妊娠～出産期

- 妊娠届時
5万円給付

市独自

- 妊婦健診15回無料

市独自

- 新生児聴覚検査無料

- 出生時
5万円給付

- 出産育児一時金
50万円給付

2. 乳幼児期

市独自

- 福島型給食
・質の高い給食
・給食費の1/3を支援

市独自

- 0～2歳児の保育料を
国基準額から軽減

市独自

- 第2子の保育料1/2
第3子以降は無料
(所得制限・年齢基準なし)

- 幼児教育・保育の
無償化

3. 小学校

市独自

- 拡** 福島型給食
・質の高い給食
・給食費の約4割を
支援

市独自

- 拡** 放課後児童クラブの
利用料を軽減
所得制限撤廃
・第2子 2,000円
・第3子以降
4,000円

4. 中学校

市独自

- 拡** 福島型給食
・質の高い給食
・給食費の約4割を
支援

総額

65億2,462万円

5. 高校

市独自

- 奨学資金
支給制度
・年5万円



福島型給食



市独自 国民健康保険税軽減(未就学児、18歳以下の第2子以降 均等割全額減免)

市独自 子どもの医療費18歳まで全額無料(窓口無償化)

拡 児童手当 月額1万円～第3子3万円、高校生まで、所得制限なし(R6.10～)

4 将来にわたり持続可能な産業の振興

(1) 農林業の振興

農林業振興基金を活用して施策を大幅拡充し、次世代を見据えた持続可能な農業を促進します。果実プロモーションの展開等により、販売拡大とブランド力向上を図ります。

① 農業の振興 ～太陽光発電事業寄付金による基金を活用 次世代型農業の推進

- ・気候変動適応型農業支援（渇水・高温対策の自動灌水装置等）
- ・スマート農業実装支援（作業効率化・生産性向上のスマート農機具・システム導入）
- ・脱炭素設備導入支援（農家事業用の太陽光発電システム導入助成）
- ・脱炭素・循環型農業支援（先導的な循環型モデル事業、園芸施設エネルギー転換、剪定枝の利活用）
- ・カジュワークプラス（R6.6業種拡大） ・収入保険加入の促進（R7まで特別対策）

▶提案型の地域課題解決事業（農業団体12件の取組を支援）

▶新規就農支援パッケージ ▶樹園地の継承

▶人・農地プラン策定

▶鳥獣被害対策、ツキノワグマ被害特別対策

▶福島地方卸売市場の再整備推進

② 販売拡大・ブランド力向上

▶「ゆうやけベリー」ブランド確立

▶F-BOX活用（詰め合わせ商品ブランド化）

▶果実等プロモーション

重点消費地や交流都市へのトップセールス、ピーチ&アップルホリデー

▶軽トラ市の開催（駅前・Web軽トラ市）

▶食品加工の産業化、新商品・新品種の開発促進



カジュワークプラス

F-BOX
贈答用



新規就農者の推移



4 将来にわたり持続可能な産業の振興

(2) 商工業の振興

地元企業のチャレンジや事業承継を支援し、企業誘致や新規創業の促進を強化して魅力ある**企業・産業の集積**を高め、新たな取組が生み出される**創造的な経済体質**への転換を図ります。

① 地場企業の振興

- ▶ **新製品・新技術開発支援**（開発期間を複数年に拡大）
- ▶ **ものづくり企業応援**（市内企業開発製品の認知度向上や販路拡大を応援）
- ▶ **凍み豆腐事業継承推進**（温暖化適応の製法を福大と共同研究）
- ▶ **企業向け外国人材活用相談窓口** ▶ **次世代後継者育成「夢創塾」**（R5参加業種拡大）
- ▶ **圏域9ビジネスマッチング** ▶ **中小企業ゼロカーボン資金融資**



クリエイティブ
ビジネスサロン

② 新規創業支援

- ▶ **街なか創業ゾーンの形成**（都市型産業の集積）
- ▶ **クリエイティブビジネスサロン運営** ～新たな働き方の促進
- ▶ **起業女子応援パッケージ** ▶ **創業応援利子補給パッケージ**
- ▶ **若者創業支援トップセールス**（学生の創業促進）
- ▶ **大学や誘致企業と連携した研究開発、新産業の創業支援**

企業誘致
H30～R5 19社

③ 企業誘致の促進

- ▶ **第2期福島おおぞらインター工業団地の分譲開始**（R7.1予約販売）
- ▶ **企業誘致支援の拡充と追加投資の促進**（R6.3条例改正）
- ▶ **新産業団地の調査開始**
- ▶ **「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援**（本社・支社機能の誘致推進、ゆとり満喫エールパスポート）
- ▶ **企業誘致トップセールス** ▶ **誘致企業と地場企業の交流促進**



おおぞらインター工業団地

7 ゼロカーボンの推進

(1) 再生可能エネルギー活用・省エネ化の推進

豊かな環境を未来に引き継ぐため、福島らしい**地域共生型の再生可能エネルギー**の活用を推進します。エネルギー価格の高騰や多発する災害への対応も踏まえ、**ゼロカーボン**の取組を加速します。

① 事業者・家庭向け支援

- ▶ 小水力発電促進
- ▶ 水素活用の普及

FCV購入への市独自補助、民間定置式水素ステーション開設(R5)

- ▶ **脱炭素生活スタイルの普及啓発、脱炭素住宅整備促進**

- ▶ **ゼロカーボンパーク登録 (R5) 東北初**

土湯温泉地、高湯温泉地

- ▶ **ふくしまサステナブルおもてなし宣言 (R5)**

SDGsに取り組む観光事業者のブランド力アップ

- ▶ **中小企業ゼロカーボン資金融資**

② 公共施設での活用推進

- ▶ **新清水支所の本市初二アリー-ZEB認証**

太陽光発電、蓄電池設備。R6.2開所

- ▶ **市民センターへの太陽光発電・水素発電設備の設置**

- ▶ **その他公共施設でのゼロカーボン化**

施設・街路灯のLED化、こむこむ館アルミ製屋根による冷暖房費削減

- ▶ **公用車のエコ化**

R6:EV4台・HV2台購入、急速充電設備4基設置(クリーンセンターのバイオマス発電活用)

福島市ゼロカーボンシティ宣言(R3.2)

2050年度CO₂排出 実質**ゼロ**

脱炭素計画目標前倒し

2030年度CO₂削減: 30%

⇒ **55%**

ノーモアメガソーラー宣言(R5.8)

- ・山地への新規大規模太陽光発電を望まない
- ・地域共生型の再生可能エネルギーを推進



実効性ある条例制定へ(R7.3)

- ・環境との共生
- ・禁止区域等を設定
- ・風力発電も対象
- ・公表や適切管理を義務化

新清水支所



7 ゼロカーボンの推進

(2) 森林整備・木材利活用の推進、ごみ減量化の推進

二酸化炭素の吸収源である森林の整備と普及啓発、併せて、木材利用を促進します。市民が快適な生活を営み続けられるよう、持続可能な**循環型社会**の構築を目指します。

①森林整備・木材利活用の推進

- ▶森林の適切な経営管理、森林再生、林道整備
- ▶**荒川区との「あらかわの森」共同森林整備**
- ▶公共施設での木材積極活用

清水支所、旧広瀬座、(仮称)もりあい認定こども園など

▶建築物木材利用促進協定 (R6.5)

事業者の新築社屋に市・県産材を活用。PRや情報発信で木材利用を促進。

▶森林ビジョン (環境変化や課題を踏まえ将来像を示す。R8策定予定)



「あらかわの森」共同整備



木材利活用
(ももRabiキッズパーク)



生ごみ処理「キエーロ」

②ごみ減量化の推進

▶ごみ減量化・資源化の促進 ~生活系ごみ1人1日530g以下を目標

生ごみ減量化に重点(キエーロ活用促進)、雑紙等分別強化、
分別アプリでのリサイクル、食品ロス削減

▶ごみ適正排出の推進

廃棄物処理条例改正(R7.2)…違反ごみの開封調査、改善勧告、公表

製品プラスチックのリサイクル実証実験(R6.11)、小型充電式電池の回収

▶官民イベントでのごみ削減等 (R6イベント補助の要件化)

▶フードシェアリングサービス「ふくしまタバスケ」(R5)

売れ残りを防ぎたい食料品店と、食品ロスに貢献したい市民をマッチング

ふくしま タバスケ

～「もったいない」が、あなたとお店をマッチング～



8 移住定住の促進、女性活躍社会の形成

(1) 移住定住の促進

交通アクセスの良い本市へのオフィス移転や家族を含めた**移住・定住支援**を強化します。
結婚へ踏み出せる環境整備と、**若者・子育て世帯の定住促進**を図ります。

①移住の積極的推進

▶ワンストップ相談窓口 ▶移住コーディネーター配置

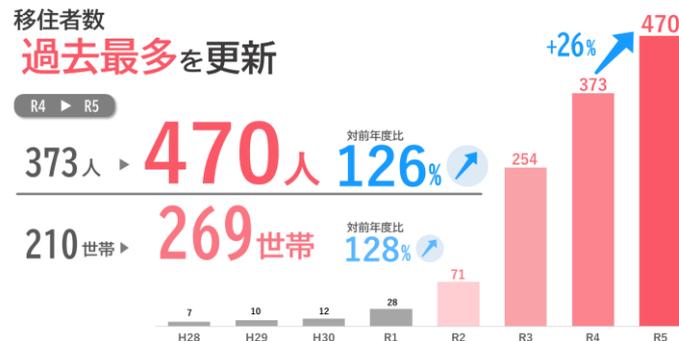
▶ふくしま定住促進

首都圏での移住フェア & **本市単独出張相談**、ハンドブック刷新
おためし移住体験(プレ移住サポート、宿泊費補助)

▶広報推進 (移住応援サイト、WEB広告)

▶移住新生活応援 (引越費用補助、お湯めぐりパスポートを贈呈～福島三名湯3年間入浴料無料!)

▶**夏・冬帰省時の臨時相談窓口** (駅西口) ▶UIターン移住支援 ▶移住者の空家リフォーム補助



②結婚・定住しやすい環境整備

▶出会いの場創出

▶結婚新生活応援 (R5:**376世帯**)

▶わかもの住まい支援 (民間賃貸住宅を活用した新婚・子育て世帯の家賃支援)

▶**子育て・若者世帯向け市営住宅** (R5:20世帯58名、R6.4入居要件緩和)

▶**ふくしま☆スタイル住宅整備** ~住んで良かったと実感できる魅力ある市営住宅。省エネ性能にも配慮

・新築住宅… 1Fは高齢者向け、2Fは若者・子育て世帯向けの地域優良賃貸住宅

・**DIY住宅**… 入居者が自由にアレンジ

・**リノベーション住宅**… フランフラン家具等設置モデル

▶移住者同士や地域との交流 (くだもの収穫体験交流会など)

ふくしま☆スタイル
リノベーション住宅



8 移住定住の促進、女性活躍社会の形成

(2) 女性活躍社会の形成

市が率先垂範し**社会的な意識改革**を促しながら、**女性が活躍しやすい環境**づくりに取り組みます。

① **ふくしま起業女子応援パッケージ** ～起業した先輩たちが姉妹のように伴走型で支援～
女性の起業チャレンジ講座、起業相談「姉妹カフェ」、プチインターンシップ、お試しワンデー起業

② 女性活躍のための施策

- ▶ 働く女性応援企業認証 (H29:24社⇒R5:90社)、ゴールド認証 (R6まで計13社)
- ▶ ジェンダー平等の推進 (公共施設・公立中学校のトイレに生理用品配置。公共3施設⇒R6:20施設)
- ▶ 「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」に参加(R5)
- ▶ **WEBスキルアップセミナー**、ひとり親家庭の資格取得支援 ▶ 男女共同参画の啓発
- ▶ 経済界への女性雇用環境等の改善要請

③ 女性の社会的地位向上への取組

▶ 女性市職員の積極的登用

| | | | |
|------|---------------|---|----------------|
| 特別職 | H29: 0人(0.0%) | ⇒ | R6: 1人(20.0%) |
| 管理職 | // :10人(5.9%) | ⇒ | // :22人(12.4%) |
| 消防吏員 | // : 2人(0.8%) | ⇒ | // :10人 (3.3%) |

▶ 審議会等の女性比率 H29:29.1% ⇒ R6:37.3%(法定外含め43.3%)

▶ 自治振興協議会の女性参加率 H29:13.3% ⇒ R6:38.9%

② 男性の育児参加促進

▶ 子育て2020(フレフレ)プログラム(男性の育児休業取得推進)

男性職員育児休業取得率 H29:6.3% ⇒ R5:70.6%

▶ 子育てエールメッセージ、子育てエールデー

▶ 市長自ら「イクボス」宣言 ・「おとう飯」サポーター就任

行動宣言

輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会



働く女性応援企業ゴールド認証



子育てエールメッセージ

次の総合計画はどうなるの？

- 次は「**第7次福島市総合計画**」
令和8～12年度の5年間の期間
- 総合計画は、福島市をより良いまち
するためのもの
⇒まちづくりの主役である市民と
皆さんと『**共創**』で進めていきたい

総合計画はどのようにつくるの？

【市民の皆さんの参画】

- ・アンケート
- ・ワークショップ ←今回
- ・パブリックコメント

【有識者懇談会】

…各分野の専門家からアドバイス

【福島市議会】

【福島市】

市長

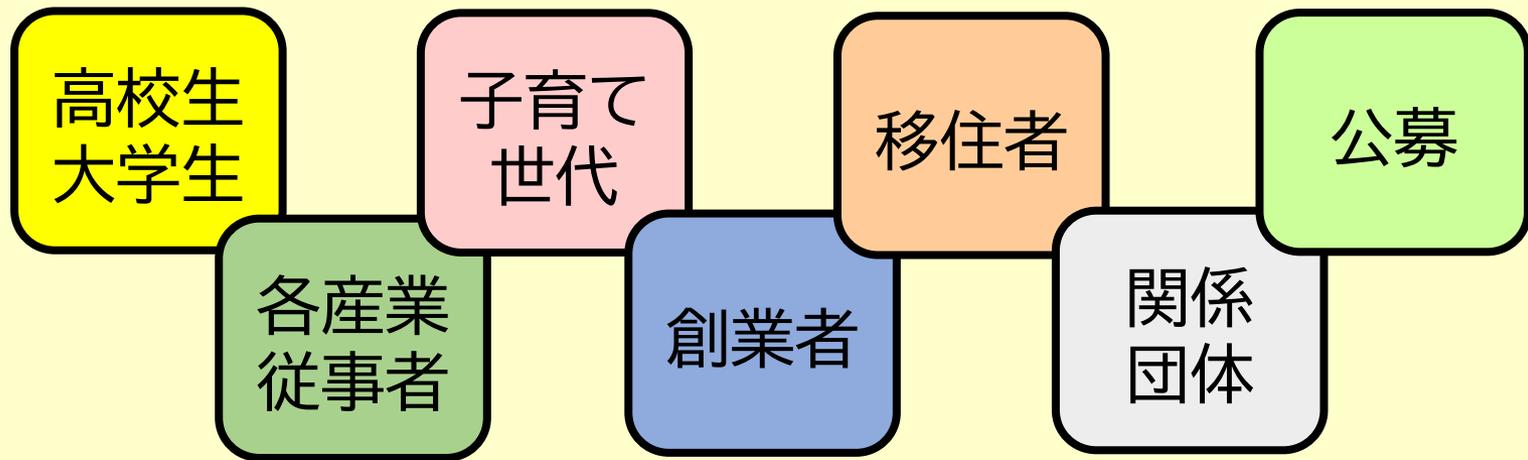
策定
委員会

策定
委員会
幹事会



ワークショップって、なに？

- 学生など**若者を中心に**、様々な世代・分野から**約100名**が参加
- 様々な分野・世代の参加者の皆さんで、**福島市**への思いを楽しく語り合う



今日出た意見はどうなるの？

- 皆さんのアイデアは集約し、
総合計画のベースとして反映
- 有識者懇談会や市役所の策定委員会に、
ワークショップの結果を共有しながら、
計画の内容を議論し、このやり取りを
何度か繰り返して総合計画の素案を作る